

なかつがわ

市の花 サラサドウダン

令和7年 中津川市議会12月定例会



中津川警察 一日警察署長
 中津商業高校出身のタレント宮嶋麻衣さん

一日警察署長出発式の関係者と南さくら幼稚園園児たち



中津川市議会12年ぶりに議員定数削減 令和9年の選挙から3人減の18人に

目次

中津川市議会議員定数条例改正……………②
 議案……………③
 予算決算委員会報告……………⑤
 請願・陳情……………⑥
 常任委員会先進都市行政視察報告……………⑧
 特別委員会報告……………⑪
 一般質問……………⑫
 常任委員会所管事務調査報告……………⑯
 市民と議会の対話集会……………⑱
 編集後記他……………⑳

トピックス

- 中津川市議会議員定数条例が改正されました (2ページ)
- 常任委員会先進都市行政視察報告 (8～10ページ)
- 常任委員会所轄事務調査報告 (16～17ページ)
- 市民と議会の対話集会を開催しました (18～19ページ)

12月定例会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託	審査結果	
報告	報第9号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認 (全会一致)
	報第10号	市長の専決処分事項の報告について	—	—	—
条例	議第90号	中津川市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第91号	中津川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	総	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第92号	中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	総	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第93号	中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部改正について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第94号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第95号	中津川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第96号	中津川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第97号	中津川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	産	可決 (全会一致)	可決 (賛成多数)
	議第98号	中津川市火災予防条例の一部改正について	総	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第104号	中津川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	文	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
	議第106号	中津川市議会委員会条例の一部改正について	—	—	可決 (全会一致)
議第107号	中津川市議会議員定数条例の一部改正について	—	—	可決 (賛成多数)	
その他	議第99号	中津川市総合計画基本構想及び基本計画について	—	—	可決 (賛成多数)
	議第100号	第四次中津川市環境基本計画について	産	可決 (全会一致)	可決 (賛成多数)
	議第101号	財産の取得について	文	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第102号	財産の取得について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
	議第103号	市道路線の認定について	産	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会 議定：議員定数等特別委員会

中津川市議会議員定数条例が改正されました

次回通常選挙から市議会議員は定数18人

合併後の中津川市議会議員定数の推移				
平成17年	平成19年	平成23年	平成27年	令和9年
35人	30人	24人	21人	18人

議員定数等特別委員会の経緯

中津川市議会は令和6年9月議会で「議員定数等特別委員会」を設置しました。その後「中津川市議会議員定数削減に関する請願」が市民団体から提出され採択となりました。

議員定数等特別委員会は各会派の意見を聞きながら、令和6年12月～令和7年1月にかけて広報・窓口・インターネットなどで市民を対象にアンケートを実施しました。アンケートの結果は、回答数762件のうち72.6%が議員定数は削減した方が良いという結果でした。



《2回の勉強会を開催》

令和6年12月24日には、廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏による「適正な議員定数と議員報酬」、令和7年11月7日には財務省東海財務局岐阜財務事務所の職員を招き「中津川市の財務状況と今後の課題」について全議員で勉強会を開催しました。

令和7年12月16日、市民団体から「中津川市議会議員定数の維持を求める請願」が提出され不採択となりました。

議員定数等特別委員会設置以来15回の委員会を開催しましたが、合意には至らず委員会としての調査、研究を終了しました。

令和7年12月22日の本会議において、中津川市議会議員定数条例が改正され、次回選挙(令和9年4月予定)より議員定数を21人から18人にすることが決定されました。

また、議員定数等特別委員会から、調査・研究を終了することが報告され、採決の結果終了することが決定されました。

議員定数等特別委員会の経緯

令和6年 9月	議員定数等特別委員会設置 中津川市議会議員定数削減に関する請願が提出される
10月	第1回 委員会開催
11月	第2回 委員会開催
12月	第3回 委員会開催
12月	第4回 委員会開催
12月	市民アンケート実施
12月	議員勉強会開催
令和7年 1月	第5回 委員会開催
2月	第6回 委員会開催
2月	第7回 委員会開催
8月	第8回 委員会開催
9月	第9回 委員会開催
5月	第10回 委員会開催
7月	閉会中の議員活動調査実施
8月	第11回 委員会開催
9月	第12回 委員会開催
11月	中津川市の財務状況議員勉強会開催
11月	第13回 委員会開催
11月	中津川市議会議員定数の維持を求める請願が提出される
11月	第14回 委員会開催
12月	第15回 委員会開催
12月定例会最終日	議員定数等特別委員会廃止

予算決算委員会報告 (補正予算)

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの12月補正(概要)をご覧ください。



12月補正予算の概要

- 12月補正予算.....8億721万8千円
- ・一般会計.....4億9,886万2千円
- ・国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定).....477万1千円
- ・介護保険事業会計.....409万2千円
- ・後期高齢者医療事業会計.....1億4,736万円
- ・水道事業会計.....528万4千円
- ・下水道事業会計.....△962万3千円
- ・病院事業会計.....1億5,883万9千円

《主な事業》

①国・県補助金等を活用した事業 計 2億3,221万1千円

- ・病児保育事業の委託料を増額(子育て支援事業).....4,086千円
- ・通院支援アプリを導入(医療機器整備事業)【病院事業会計】.....13,394千円
- ・物価高対応子育て応援手当事業.....214,731千円

②寄附金を財源とした備品購入等 計 1,566万3千円

- ・公共施設整備運営基金へ積み立て(公共施設整備運営基金管理事業).....10,000千円
- ・病児保育所の備品等を購入(子育て支援事業).....836千円
- ・小中学校への備品・図書等を購入.....1,827千円
- ・美術館建設及び美術品等取得基金へ積み立て(文化振興事業).....3,000千円

③緊急対応が必要な事業 計 3,673万円

- ・健康福祉会館の空調制御機器等を更新(財産管理事務事業).....5,940千円
- ・行政代執行による特定空家等除却(生活安全対策事業).....7,623千円
- ・蛸川福祉センターの消火設備を更新(高齢者福祉施設等運営事業).....2,233千円
- ・中津川西部テクノパーク整備.....7,857千円
- ・坂本中学校の消火設備を更新(中学校施設管理事業).....9,524千円
- ・鉱物博物館の中央監視盤等機器を更新(鉱物博物館事業).....3,289千円

④基金積立のための事業 計 1,740万1千円

- ・公共施設整備運営基金管理事業.....3,829千円
- ・地域振興基金管理事業.....4,604千円
- ・リニア中央新幹線まちづくり基金管理事業.....4,136千円

⑤事業費の精算等 計 1億 4,728万5千円

- ・後期高齢者医療広域連合納付金.....144,285千円
- ・後期高齢者医療保険料還付金.....3,000千円

⑥人件費の補正 計 3億5,792万8千円

- ・職員給与費(全会計分).....225,250千円
- ・会計年度任用職員報酬等(全会計分).....120,796千円
- ・人件費の補正に伴う一般会計から他会計への繰出金.....11,882千円

■繰越明許費の補正

- 事業完了が翌年度となるため、やむを得ず繰り越して執行します。
- ・行政情報化運営事業.....118,869千円
- ・戸籍住民基本台帳事業.....10,236千円
- ・企業誘致推進事業.....11,357千円
- ・リニア駅周辺土地区画整理事業.....80,000千円

専決処分の報告

- 10月6日専決
- ・下水道事業会計 落雷により被災した下水道設備の復旧.....526万9千円

議会だより ⑤ なかつがわ

補正 予算	議第83号	令和7年度 中津川市一般会計補正予算(第5号)	予	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)	
	議第84号	令和7年度 中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第85号	令和7年度 中津川市介護保険事業会計補正予算(第2号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第86号	令和7年度 中津川市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第87号	令和7年度 中津川市水道事業会計補正予算(第3号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第88号	令和7年度 中津川市下水道事業会計補正予算(第3号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第89号	令和7年度 中津川市病院事業会計補正予算(第2号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	議第105号	令和7年度 中津川市一般会計補正予算(第6号)	予	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)	
	請願	請願第6号	中津川市議会議員定数の維持を求める請願	議定	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)
		請願第7号	介護保険制度の抜本改善及び介護従事者の処遇改善を求める請願	文	不採択 (賛成少数)	不採択 (賛成少数)
陳情	陳情第7号	陳情書「メモリアル施設建設候補地に関する陳情」	文	—	—	

総:総務企画委員会 文:文教民生委員会 産:産業建設委員会 予:予算決算委員会 議定:議員定数等特別委員会

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派 氏名	中津川市民クラブ											公明	市民ク	共産	9	コ	ネ	無	議決 結果		
		鷹 見 憲 二	勝 影	岡 崎 隆 彦	吉 村 浩 平	吉 村 俊 彦	島 崎 保 人	吉 村 孝 志	長 谷 川 透	宮 嶋 寿 明	林 友 義	田 口 文 数	糸 魚 川 伸 一	柳 松 直 子	松 嶋 律 子	木 下 愛 子	鷹 見 信 義	牛 田 敬 一	黒 田 と ろ		小 池 菜 摘	
議第83号	令和7年度中津川市一般会計補正予算(第5号)	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第91号	中津川市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第92号	中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第93号	中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第95号	中津川市児童福祉支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第97号	中津川市産業物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第99号	中津川市総合計画基本構想及び基本計画について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第100号	第四次中津川市環境基本計画について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第104号	中津川市特定児童福祉支援事業の設置に関する基準を定める条例の制定について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
議第107号	中津川市議会議員定数条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
請願第6号	中津川市議会議員定数の維持を求める請願	否	否	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛	否	否	否	否	不採択
請願第7号	介護保険制度の抜本改善及び介護従事者の処遇改善を求める請願	否	否	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛	否	否	否	否	不採択

※公明:市議会公明党 市民ク:市民クラブ 共産:日本共産党 9:中津川9の会 コ:地域コネクト ネ:市民ネット 無:なかつがわ無派閥の会

議会だより ④ なかつがわ

陳情

陳情書 「メモリアル施設建設候補地に関する陳情」

陳情の要旨

私たちは、メモリアル施設(火葬場)建設候補地を13区(辻原)にある坂本北部クリーンセンター(下水処理場)横に建設する事に反対します。

議員の皆様、私たちは、メモリアル施設を造る事は必要だと理解しております。辻原の、この場所に造る事に反対しております。どうぞ、私たちの思いを、ご理解していただけると幸いです。

陳情の理由

1. 恵別峡ロードと呼ばれる観光道路の直ぐ脇であり、観光客、地域住民、別荘の人に親しまれている田園風景の象徴であります。
2. ここは、住宅が高台に並び一帯で、火葬場は、住民から見下ろす最も低い場所にあります。火葬場は高台で奥まった静かな場所で、故人を送るものと考えます。
3. 地域住民が毎日行き来する場所と、子供たちが通学路としてすぐ横を、毎日通ります。又、工業高校が1km未満にあります。火葬場が、子供たちの健やかな成長に暗い影を落とさないか心配です。
4. 中津川市土砂災害ハザードマップ(ため池危険浸水想定地区内)の危険地域内に火葬場を建設することで、施設や周りに影響を与えかねません。
5. 反対署名983名、(内、千旦林地区277名、茄子川地区144名、その他の中津川地区562名)の反対がございます。
別紙、地図・写真を、添付いたしました。どうぞ、私達の思いを理解していただけることを願っております。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

文教民生委員会所見

中津川市議会、文教民生委員会としては、執行部より、メモリアル施設建設候補地として選定されたと聞いており、これからの地元の動向、執行部の状況等、注視しているところです。

今後の地元協議会、夢のような辻原づくり協議会の、進め方も考えていただき、多くの住民の賛成、反対の意見を聞く場も取り入れて、様々な意見を交換され検討を重ねていただきたいと考えています。

執行部においては、地元住民に対し丁寧な説明に心がけて進めて下さい。

市議会あれこれ

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願書を提出するときは 3 人以内の市議会議員の紹介を必要とします。陳情書の場合は、市議会議員の紹介は必要ありません。請願の場合は、常任委員会などで審査した上で、本会議で「採択」、「不採択」を決定し、その結果を請願者へ通知します。請願の委員会審査では、請願者が希望される場合、委員長の許可により、委員会協議会で趣旨説明を行うことができます。

陳情の場合は、陳情者が市内の方の場合、委員会に付託され、審査結果を陳情者へ通知します。陳情者が市外の場合は、議会運営委員会と委員会に付託するかどうか協議されます。陳情の委員会審査では、陳情者が希望される場合、委員長の許可により、委員会協議会で趣旨説明を行うことができます。委員会に付託されなかった場合は、陳情書の写しを全議員に配布します。

※令和8年第1回中津川市議会(3月定例会)請願・陳情締切:令和8年2月18日(水)正午

請願

中津川市議会議員定数の維持を求める請願

請願の要旨

中津川市は、中山間地域を多く抱え、地域ごとに多様な課題を持つ広域な自治体です。現在中津川市議会において、議員定数削減について審議されています。

中津川市議会基本条例では、

「第1条 この条例は、二元代表制の下、議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本事項を定めることにより、地方自治の本旨に基づく市民の負託に的確に応え、もって市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とします。

第24条 議員定数は、市政の現状と課題、将来の予測と展望等を考慮し、行財政改革の視点だけではなく、多様な民意を十分に議会に反映できるものとし、

議員は市民の代表として、多様な民意を十分に議会に反映しなければなりません。定数を削減すれば、その分市民の民意が届かにくくなります。市民の負託に的確に応え、市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与するには、議会の体制強化が必要です。議員の削減などあってはならないと思います。

請願事項

1. 中津川市議会において、議員定数削減ではなく、現行の議員定数を維持されるよう検討を行っていただきたい。
以上、よろしくご審議の上、速やかにご採択くださいますようお願い申し上げます。

議員定数等特別委員会審査内容

中津川市は面積が広く議員の役割も多いため、現在の21人で良いとの意見もありましたが、議員定数等特別委員会で議論を重ねてきており、前回の市議会議員選挙が無投票であったこと、市民アンケートで7割の方からいただいた議員定数を削減したほうが良いとの声を尊重すべきとして、不採択と考えます。

介護保険制度の抜本改善及び介護従事者の処遇改善を求める請願

介護保険制度は、創設後25年経った現在、保険料の重い負担や、利用料などが高いための介護サービスの利用控えや介護離職などが多くあります。

2024年の介護報酬はプラス改定でしたが、介護職員と全産業平均の賃金格差(月額7万円)や、近年の物価高を埋めるには程遠く、介護現場の人手不足は引き続き深刻です。さらに訪問介護報酬の引き下げで、介護事業所が廃業に追い込まれる事態が生じています。

こうした中、政府は、国民の反対の声で先送りにさせた利用料2割負担の対象拡大や要介護1・2の保険給付外しなどの改悪に向けた審議を再開しました。

権利としての介護を保障するには、介護保険の国庫負担を増やし、制度の抜本改善と介護従事者の処遇改善が必要です。そこで、以下を求める請願を提出いたします。

記

以下の内容について、国に意見書を提出して下さい。

1. 社会保障費を大幅に増やし、必要な介護が保障されるよう、費用負担の軽減、サービスの拡充など、介護保険制度の抜本的見直しを行うこと。介護保険財政に対する国庫負担の割合を大幅に引き上げること。
2. 訪問介護の基本報酬の引き下げを撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。その際サービスの利用に支障が生じないよう、利用料負担軽減などの対策を講じること。
3. 利用料2割負担の対象拡大、ケアプラン有料化、要介護1・2の保険給付外しなど、介護保険の利用に重大な困難をもたらす制度見直しを検討しないこと。
4. 全額国庫負担により、全ての介護従事者の賃金を全産業平均まで早急に引き上げること。介護従事者を大幅に増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと。

文教民生委員会審査内容

・高齢化率を考えても介護保険制度だけでは今後立ち行かなくなる不安があり、介護保険制度を改定していくことに加え、別の形の高齢者支援の制度を考えていくべきと考えます。
・国が審議中であり、物価高による介護施設の厳しい資金繰りを支えるための支援や介護従事者の処遇改善も国の補正予算案に盛り込まれているため、この請願は不採択と考えます。

文教民生委員会 先進都市行政視察報告

◆長野県須坂市 「減塩対策～減塩の日の取組について」

10月21日

【目的】

健康づくりに減塩の日を制定して取組んでいることから、その具体的な取組の内容と状況、成果について視察しました。

【概要】

減塩に取組むきっかけづくりとして、「減塩の日」を取り入れ、減塩商品の展示や減塩レシピの紹介などおこなっていました。尿中塩分測定を18歳以上の市民に対して年1回無料で実施し、その結果の返却の際には実物の塩の添付など市民に関心を持ってもらえる取組みが丁寧に行われていました。

【委員会のまとめ】

中津川市でも減塩大作戦を全市で展開していますが、市民にもっと関心を持ってもらえるように「減塩の日」の取り入れや、丁寧な取組をさらに推進すべきと考えます。

◆埼玉県さいたま市(浦和区) 「歯周病予防対策の具体的な取組について」

10月22日

【目的】

「大人のデンタル基本塾」の具体的な事業内容と、市民への働きかけについて視察しました。

【概要】

令和7年度は「大人のデンタル基本塾」ですが、毎年テーマを設けて、口腔衛生につながる市民向け講座を開催し、歯や口腔の健康に関する意識を高め、継続的に歯周病予防に取組んでいます。また「歯と口の健康」をテーマとしたイベントでの普及啓発もおこなっています。歯科健診そのものを、健康診査の一つとして市民に案内していました。

【委員会のまとめ】

歯科健診を、がん健診や特定健診などの健康診査の一つとして扱うことで、市民の関心も高まる効果が期待されると考えます。

◆静岡県熱海市 「慢性腎臓病(CKD)予防対策～予防教室について～」

10月23日

【目的】

自宅学習(基礎)で動画視聴を取り入れた慢性腎臓病(CKD)予防教室を開いています。予防事業への取組と市民への普及啓発について視察しました。

【概要】

慢性腎臓病の病期によって、さらに栄養編を加えた教室も開催し、病気への理解と重症予防、治療受診へとつなげていました。医師会・歯科医師会・薬剤師会と一緒に慢性腎臓病重症化予防プログラムに取組みながら、健診未受診者、未治療者等への徹底したアプローチをおこなっていました。

【委員会のまとめ】

医師会・歯科医師会・薬剤師会などの連携の重要性がよくわかり、中津川市においてもさらに連携を強化して事業を推進する必要があると考えます。

総務企画委員会 先進都市行政視察報告

◆長野県佐久市 「移住定住、二地域居住の取組について」

10月7日

【目的】

移住定住、二地域居住の取組について、視察により、当市にも活用できる先進事例を学ぶ。

【概要】

特徴的な移住定住施策として、佐久市移住検討者滞在補助金(二地域居住に貢献している)、U・Jターン就業・創業移住支援事業補助金、シニア向け新幹線利用支援等補助金の充実、また滞在型市民農園、移住者向け賃貸住宅、移住のオンラインサロンなどの施策を展開していました。

【委員会のまとめ】

「まちの暮らし」から「山の暮らし」まで幅の広い移住定住政策を行っています。移住検討者への市内滞在経費の2分の1以内を補助する等、多くの実績をあげています。

◆栃木県栃木市 「移住定住、二地域居住の取組について」

10月8日

【目的】

移住定住、二地域居住の取組について、視察により、当市にも活用できる先進事例を学ぶ。

【概要】

特徴的な移住定住施策として、東京都通勤者支援補助金、通学者定期券購入補助金等がありました。移住検討者への体験施設が2施設あり、予約が取りにくいほど好評で、通算245組609名の利用者のうち27組61名が移住を決めています。移住体験施設を二地域居住の住宅を探す一時滞在場所として開設しています。

【委員会のまとめ】

東京に近く、新幹線を利用した特徴的な移住定住施策として、東京都通勤者支援補助金、通学者定期券購入補助金があります。

◆長野県大町市 「市の魅力を活かした移住定住の取組について」

10月9日

【目的】

市の魅力を活かした移住定住について、視察により、当市にも活用できる先進事例を学ぶ。

【概要】

特徴的な移住定住施策として、定住促進協議会の設置、北アルプス連携自立圏の形成、(株)山と渓谷社との連携事業(特設ページによる情報発信)、マップの作製、小冊子の発行、北アルプス関わり隊事業を行っていました。移住定住協力店、協力制度、お試し暮らし体験や、魅力体験ツアー、オーダーメイドツアーなどを行っていました。

【委員会のまとめ】

定住促進協議会の設置(人口減少に対し、市民と市内各種団体との協働)など市全体の取り組みが目立ちます。

特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会「中間報告」

10月14日

【議題1】

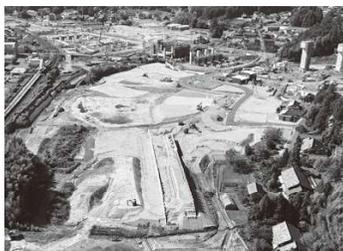
令和7年10月14日郡上市総合文化センターで開催される濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議について、会議の内容、進め方、執行部課から提案する資料について確認しました。

【議題2】

中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議での説明資料についてと執行部報告事項について説明を受け、了承しました。

【議題3】

中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議について、令和7年10月30日尾越工区トンネルの視察、南木曾会館で合同会議を実施すること、また説明資料について執行部説明を受け、確認しました。



▲リニア岐阜県駅(仮称)周辺 (R7.2月時点)



▲濃飛横断自動車道 [坂本茄子川] (R7.2月時点)

◆議員定数等特別委員会「調査終了報告」

11月20日、11月25日、12月16日

11月20日の委員会では議員報酬額について、以下のような意見が出されました。

中津川自民クラブ：議員が18名となった場合、現在の予算枠、人事院勧告、県内及び類似団体などを参考に43万5000円としたが、報酬審議会にこれらを資料として市長より諮問していただきたい。

市議会公明党：人口割で計算すると42万5833円

市民クラブ：37万6000円+10%上乗せするのが妥当。全国平均の40万円台までは上げていくべき。

日本共産党：現状維持

また、令和6年9月より議論を重ねてきましたが、委員会としてまとめることができず、調査・研究を終了することを委員会として決定しました。

11月25日の委員会では「中津川市議会議員定数の維持を求める請願」が提出され、議会運営委員会において、12月定例会初日に議員定数等特別委員会に付託されることが確認されたため、委員会を継続することを確認しました。

12月16日は請願を審査したのち、委員会として調査・研究を終了することを決定しました。

産業建設委員会 先進都市行政視察報告

◆京都府綾部市

「農業の後継者対策について」

10月15日

【目的】

志賀郷北部農産(株)と農事組合法人グリーンファーム鷹栖の取組みについて視察しました。

【概要】

志賀郷北部農産は、集落で耕作できなくなった農地を預かったことにより大型機械の導入が可能となり、労働時間の短縮と労働負担の軽減ができ、米・麦等38haを経営されていました。グリーンファーム鷹栖は、水路改修、畜獣防止、除草作業の委託を受け、20.5haを経営され、売上が19,424千円との説明でした。

【委員会のまとめ】

個々の営農では存続が困難であり、集落営農組織などにより効率的営農及び持続性ができると考えられます。

◆福井県小浜市

「地域計画における農地集積・集約化について」

10月16日

【目的】

地域計画への取組みと農地の集約化について視察しました。

【概要】

地域計画を策定するために2年間に渡り、農業委員が中心となり各地域で話し合いが行われ、その後においても2年間で担い手中心の話し合いが行われ、集積できる地域を選定し、農地中間管理機構へ農地が貸し付けられていました。また、飯盛地区では農地中間管理事業を活用した土地改良事業が行われ、531区画から82区画のほ場に整備され、作業の効率化が図られていました。

【委員会のまとめ】

地域の状況及び課題を確認することが重要であり、そこから農業施策に繋がってくると考えられます。

◆福井県あわら市

「農業の後継者対策・遊休農地対策について」

10月17日

【目的】

農事組合法人なかのほま100の取組み及び遊休農地対策について視察しました。

【概要】

農事組合法人なかのほま100は、約145haを栽培され、組合員全員が出役して各自ができる作業を行い、法人は出役時間に応じて作業料金を支払い、事業利益をできるかぎり組合員に還元していました。

遊休農地対策としては、利用可能な農地については、そばの栽培を奨励し、利用不可能農地については、国庫補助事業による再生化を図っていました。

【委員会のまとめ】

集落営農法人の設立により、個々の作業の省力化が図る必要と遊休農地の取組みを進めることも積極的に検討する必要があります。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 10 人の議員が行ないました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



高校生のバス通学の補助制度の拡充について

長谷川 透

問 加子母・付知・福岡のような高校が近くにない地域では、どうしても通学距離が長くなり、教育環境が悪化していると言えます。文部科学省も「義務教育後の教育機会均等」を各自自治体に求めており、その一つとして通学補助を認めています。通学補助は「学ぶ権利の均等」を保証する制度となっております。さらなる充実が必要と考えますが、所見を伺います。

答 子どもたちが進路を決める際、通学費が学校選択の条件とならないよう通学費補助の拡充が必要と考えています。
(リニア都市政策部長)



若年層がん患者支援制度について

田口 文数

問 AYA世代（15歳から39歳）のがん患者が増加しており、彼らの特有のニーズに対応した支援制度の整備が急務となっております。特に、治療と社会生活の両立支援や、精神的ケア、経済的支援が求められています。

答 ①若年層がん患者の在宅療養支援体制の現状と課題について、どのように認識していますか。②AYA世代がん患者向けの支援制度創設の具体的な計画、事業を推進する考えはありますか。

問 ①国の「第4期がん対策推進基本計画」の、ライフステージに応じた療養環境への支援として、AYA世代の在宅での療養環境の整備が課題であり、実態把握と体制整備に向けた検討が必要であるとされています。AYA世代への療養支援は大切だと考えております。

答 現在、具体的な計画、事業推進の準備はありますが、今後も国の動向を注視してまいります。
(医療福祉部長)



マイナンバーカードの手続きについて

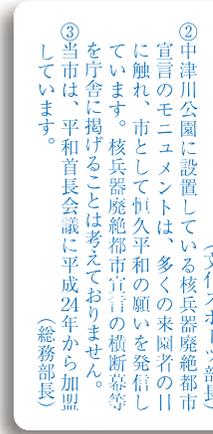
松崎 誠

問 定期的に電子証明書やカードの更新が必要ですが、現在は本庁舎と委託された5か所の郵便局の窓口で更新できますが、移動に時間をかけて手続きに行かなければならない方もいます。

答 ①郵便局に委託した経緯を伺います。②行政サービスを平等に受けるためには、全ての地区に窓口が必要と考えますが、見解を伺います。

問 ①マイナンバーカード交付件数の急激な増加に伴い、窓口の混雑が予想されたため、窓口の混雑緩和と市民サービスの向上を目的に委託しました。

答 ②全ての地区の郵便局に窓口を設置するのではなく、市内を効果的に網羅できるように郵便局と協議の上、選定しました。今後、郵便局側の受け入れ態勢もありますが、処理件数等から効果を検証し、必要であれば、委託する郵便局の追加を検討します。
(市民部長)



戦後80年 平和を受け継ぐことについて

鷹見 信義

問 ①誰でも過去から学ぶことができる常設展示場が必要だと考えますが所見を伺います。②中津川市でも、核兵器廃絶都市宣言の横断幕又は懸垂幕を市庁舎に掲げることができないか伺います。③広島市が世界の都市に呼び掛け、世界8500を超える都市が加盟している「平和首長会議」に中津川市は加盟しているかどうか伺います。

答 ①今年度開催した「戦争の記憶展」など、節目の年度で戦争に関する展示会等を設けていきたいと考えていますので、常設展示については現在のところ考えておりません。
(文化スポーツ部長)

問 ②中津川公園に設置している核兵器廃絶都市宣言のモニメントは、多くの来園者の目に触れ、市として恒久平和の願いを発信しています。核兵器廃絶都市宣言の横断幕等を庁舎に掲げることは考えておりません。

答 ③当市は、平和首長会議に平成24年から加盟しています。
(総務部長)



子ども達が望む公園整備について

田中 愛子

問 ①地域自治会が管理している「ちびっこ広場」の遊具の維持管理が継続できるよう、市で維持管理費支援はできませんか。

答 ②全国では障害の有無にかかわらず楽しめる遊具を備えた「インクルーシブ公園」が国からの交付金を利用して増えています。中津川市でも設置を進めるべきだと考えますが市の所見を伺います。

問 ③子育て世代が参考にできる地域公園を含めた一覧の作成などを検討できませんか。

答 ①ちびっこ広場は各地域自治会が設置管理・運営を行っており、すべての維持管理費を支援することは難しいと考えております。
(文化スポーツ部長)

問 ②今後、公園を整備する際には、インクルーシブ遊具の設置も検討します。

答 ③市内で遊具等がある公園については、「中津川安心・子育てガイド」の中に交流の場として掲載しています。
(医療福祉部)



外国人労働者の受入れと多文化共生について

牛田 敬一

問 外国人労働者の方々が地域で安心して生活するために、住居・医療・行政手続き・防災情報など日常生活の支援体制について伺います。

企業立地奨励金等の措置要件の中に操業開始に伴い、新たに雇用した従業員の数となっていますが、人手不足が大きな問題であるため、要件の見直しが必要ではないかと考えます。見解を伺います。

答

現行の奨励制度を受けるための要件は新規雇用の採用を必須としていますが、議員ご指摘のとおり企業は省人化のため設備投資を行うといった状況は企業訪問により把握しており、制度の見直しについて検討します。

(商工観光部長)



坂下診療所について

木下 律子

問 ①19床も含めて坂下診療所を将来にわたって継続してほしい。この住民の皆さんの思いにどう応えますか。

②坂下地域の医療体制維持のためには、坂下診療所の常勤医師の安定的な確保が不可欠です。あらゆる手段を通じて医師を確保する必要があります。現在の取組について伺います。

③坂下診療所を医療機能・地域集会所、高齢者福祉サービス・地域福祉拠点の整備等複合施設に再生できませんか。

答

①やさか地域の医療を継続して守っていくことは必要と考えています。

②医師確保につながることを考えられる制度、手段については排除することなく検討してまいります。現在は新たな医師の配置に動いているところです。

③施設の活用方法は、幅広い選択肢のなかで検討する方針です。現時点では明確にはお答えできません。

(医療福祉部長)



防災と農林業について

黒田とこ

問

ここ数年、毎年の降水量は増加傾向で、中津川市でも大雨による結構な規模の被害が発生しています。中山間の急傾斜地の棚田等は高齢化後継者不足等で、維持保守が難しく、集約化や大型機械の導入、スマート農業などの導入が厳しい地域です。大雨等による土砂災害など災害の発生が心配される地域です。

農薬面だけでなく、観光面からも棚田の維持保全は意味があると思います。維持保全されることで、防災にも繋がると考えます。市としては、どのように考えますか。

答

中山間地域等直接支払制度を活用することで、担い手の確保が進み、農地を適切に管理することにより棚田の美しい景観が形成されます。手入れが行き届いた棚田が連なる景観は、観光面でも新たな資源になると考えます。また、棚田が維持保全されることは、「ゲリラ豪雨」など、大雨の水を一時的に貯留し土砂流失防止につながると考えます。

(農林部長)

小中学校給食費無償化について

吉村 孝志

問

令和7年度の当初予算方針の中で、給食費の無償化・支援をあげています。昨年度には小栗市長の強い思いから、幼稚園の給食費無償化が実現されました。

①義務教育の給食費無償化は、国の動向を見て対応するということでしたが、令和8年度の小学校の給食費無償化についてどう考えますか。

答

②中学校の給食費無償化についてはどうですか。

①自由民主党、日本維新の会、公明党の3党が実務者協議を行い、令和8年度からの開始に向け具体的な制度設計が行われています。当市としてもこの方針に沿って進めていきたいと考えています。(教育委員会事務局長)

答

②国において具体的な検討が行われておらず、無償化を行う場合は多額の予算が必要となります。現時点で実施について明確なお答えはできませんが、令和8年度予算編成の中で財源確保に全庁を挙げて取り組んでまいります。(市長)



住民票等の「コンビニ交付」について

糸魚川 伸一

問

①東濃5市の中で、コンビニ交付を導入していないのは本市のみです。他市では一定の利便性向上を図っている中で、本市が導入に至っていない課題を伺います。

②住民票等のコンビニ交付は、導入に一定の費用がかかることは承知しています。しかし、窓口対応の職員の負担軽減、市民の時間短縮等の効果も大きいと感じます。費用と効果を総合的にどう捉えているかも含め、コンビニ交付について、現時点での検討状況を伺います。

答

①マイナンバーカードの普及状況と費用対効果に対する市民サービスの在り方を課題と捉えて検討してきました。

②現在、マイナンバーカードの保有率が80%を超え、費用対効果以上の市民の利便性向上が期待でき、また、利用者の分散による窓口の混雑緩和が見込まれるため、令和8年度中のコンビニ交付の導入を目指し、効果的な運用を検討しています。(市民課長)



議会運営委員会

党派構成の変更にもとない、議会運営委員会において、中津川自民クラブから選出される委員が4名から3名に変更されたため、議会運営委員の人数が7名から6名になりました。

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会 (6人)

- ◎吉村 俊廣 ○榎松 直子
- 田口 文数 勝 彰 吉村 浩平
- 田中 愛子

※小池 菜摘議員
中津川自民クラブからなかつがわ無派閥の会に所属となりました。



▲12月定例会でシクラメンを議場に飾りました

常任委員会報告

◆総務企画委員会〔所管事務調査〕(市長公室政策課)

11月10日

〇ふるさと納税の現状と課題について調査しました。

現状・課題

返礼品の現状は、中津川市で返礼品として人気のある品は、カテゴリ別では、菓子(約74%)、電化製品(約10%)です。

課題については、①寄付額の伸び悩み②寄附単価が低いことが挙げられます。課題解決のための取組として、民間ノウハウを導入、返礼品磨き上げ、クラウドファンディングの活用があります。

今後の対応

リピーターの囲い込み、新たな寄付者の獲得、寄附単価の高い商品の開発があります。

委員会のまとめ

返礼品の充実が大切です。業者の募集は市のホームページや広報なかつがわを活用し、更に充実させ着実に事業を進めていただきたい。



返礼品の現状

中津川市で返礼品として人気のある品は、カテゴリ別では、**菓子(約74%)、電化製品(約10%)**

人気の返礼品カテゴリ トップ5 (令和6年度実績)

順位	カテゴリ	件数	寄附額(千円)
1	菓子	38,517	421,659
2	電化製品	5,212	121,417
3	肉	2,597	59,546
4	雑貨・日用品	1,647	36,689
5	米・パン	1,237	50,703

常任委員会報告

◆産業建設委員会〔所管事務調査〕(建設部 建設課・用地課)

11月11日

〇東濃東部都市間連絡道路の現状と今後について調査しました。

現状・課題

起終点は中津川市街地から恵那市境までで延長が8,600mで道路幅員は3m2車線、歩道が2.5mの計画です。工事の状況は、1～4工区に分け令和4年度から一部工事着手しています。また、リニア工事に関連している路線についてはJR東海においても工事着手しています。

今後の対応

用地買収、建物補償を含め着実な工事完成を目指していく計画です。

委員会のまとめ

市街地からリニア岐阜駅などへのアクセス向上、生活道路の混雑解消、市民病院への所要時間短縮など効果が大きく、着実に事業を進めていただきたい。

◆文教民生委員会〔所管事務調査〕(教育委員会 学校教育課)

10月9日

〇部活動の地域移行の現状について調査しました。

現状・課題

国は2030年度末までに休日における部活動の展開を目指しています。

中津川市は令和7年度現在では、保護者クラブ20団体、競技クラブ36団体、文化芸術クラブ11団体、総合型地域スポーツクラブ16団体、スポーツ協会・スポーツ少年団・大学のクラブなど20団体が存在しているとのことでした。一方では、地域によって選べる種目の差異が大きい、指導者の確保、指導の質の担保が難しい、費用・送迎の負担があるなどの課題があります。

今後の対応

中津川市としては、今後「中津川市地域クラブ」認定制度をつくり、各団体が、4つの認定要件と「中津川市地域クラブガイドライン」に沿って活動することで、「中津川市地域クラブ」として認定し、安心・安全なクラブの運営を支援・補助・管理していきます。その認定制度に向けて、令和6年度から中津川市地域クラブガイドラインの作成にとりかかり、令和7年度にはガイドラインの周知と、地域クラブの登録を開始し、令和8年度のスタートを目指しています。

委員会のまとめ

子どもたちにとって、安心安全な活動が展開できるよう、指導者体制、運営体制など丁寧に進めて下さい。

市民と議会の対話

総務企画委員会

テーマ	市の魅力を活かした移住定住について
日時	令和7年10月30日(木) 14時～16時
場所	苗木交流センター
対象者名	市内15地区まちづくり協議会、商工会議所・北商工会のまちづくり部会
参加人数	17名
概要	移住定住につながる各地域の魅力、市や地域の魅力をどう発信し移住定住に結び付けるか、移住定住に向け地域としてどんな支援が必要か、空き家活用の課題とその対策などについて参加者の方から発言していただき、議員からの発言を行いました。
一口コメント	参加された方々がそれぞれ真剣に取り組んでくださり、参考になる意見を多くいただきました。時間の配分については、発言が充実してくるとともに、工夫が必要だったと思います。



▲対話集会の様子 (総務企画委員会)

文教民生委員会

テーマ	お口の健康～歯周病予防について～
日時	令和7年11月6日(木) 14時～16時
場所	苗木交流センター
対象者名	中津川市歯科医師会(歯科医師3名・歯科衛生士1名)、中津川市PTA連合会・家庭教育支援チームまあるいこころ
参加人数	10名
概要	歯周病予防と歯科定期健診等について参加者の方から、それぞれの立場で発言をしていただき意見交換をしました。ライフステージに応じた歯科健診について・日常生活での歯周病予防について・学校や職場での歯周病予防について・いかに日常生活の中で歯周病予防方法を定着させるか、について意見を伺いました。
一口コメント	歯科医師会からは専門的な視点で、またPTA連合会からは学校現場で、まあるい心からは子育ての現場から、それぞれの課題や問題点、疑問点が出されました。今後の委員会の提言につながっていきます。



▲対話集会の様子 (文教民生委員会)

集会を開催しました

詳しい内容は、こちらから→



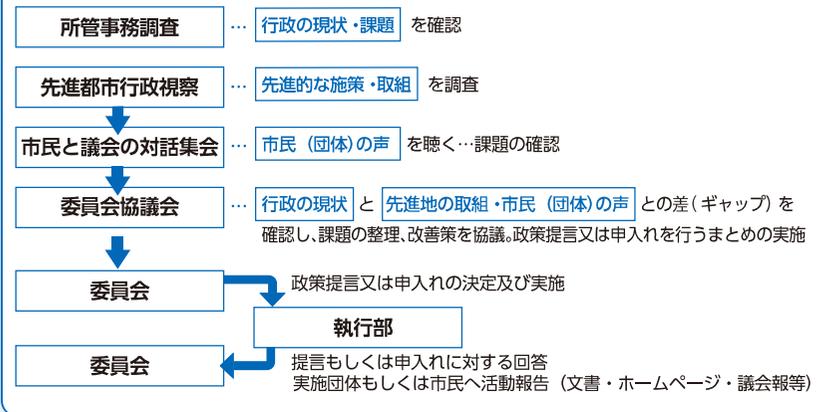
産業建設委員会

テーマ	農業経営の現状と課題について
日時	令和7年11月4日(火) 14時～16時
場所	苗木交流センター
対象者名	市内農業者(団体・個人)
参加人数	11名
概要	農業経営の現状と課題について各団体及び個人の方々から意見を伺いました。
主な意見	①農家及び畜産農家の高齢化が進んでいる。 ②農家の担い手・後継者が不足している。 ③農業施設整備に経費がかかる。 ④ほ場面積がまだ小さく、農地の集積を進めるためにも再度の土地改良事業を行い、作業効率を上げていきたい。 ⑤害獣対策支援が活用しづらく少ない。
一口コメント	農業経営が大変厳しいことがよくわかりました。個人営農では将来的にも限界が近づいており、集落営農法人等による農地の集積・作業効率の向上など多くの課題を解決していくことが重要だと考えられます。



▲対話集会の様子 (産業建設委員会)

令和7年度 常任委員会の取組み



消防団活性化事業

主催 中津川消防協会

第30回 ブラスバンドフェスティバル



消防協会ラッパ隊



合同演奏



消防音楽隊



坂下高校ギターマンドリンクラブ



中津高校吹奏楽部



中津川工業高校吹奏楽部



福岡分団エルジェ



中津川吹奏楽クラブ
(中学生による特別演奏)

東濃歌舞伎



加子母歌舞伎保存会「世迷仇横櫛」



中津川歌舞伎保存会「仮手本忠臣蔵」



常盤座歌舞伎保存会「恋飛脚大和往來」



坂下歌舞伎保存会「糸桜本朝育仲ノ町の場」



シカブキワンダーランド にしごまの森らいおんぐみ園児「問われて名乗るもおこがましいが…未来の夢は〇〇〇〇やさん」

議会開催状況

10月4日～12月22日

本会議	(4回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(2回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(2回)
議会運営委員会	(5回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(1回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(2回)
議員定数等特別委員会	(3回)
全員協議会	(1回)
議員連絡協議会	(1回)

令和8年3月定例会の日程

2月24日(火)	本会議(初日)
3月5日(木)	一般質問
3月9日(月)	一般質問
3月11日(水)	産業建設委員会
3月12日(木)	総務企画委員会
3月13日(金)	文教民生委員会
3月16日(月)	予算決算委員会
3月17日(火)	予算決算委員会
3月18日(水)	予算決算委員会
3月23日(月)	予算決算委員会
3月27日(金)	本会議(最終日)

編集後記

今号の常任委員会報告では、所管事務調査が複数報告されています。今年度からはコロナ禍以前のように複数のテーマを調査する計画で進めています。これにより行政執行の監視機能の強化を図ると共に、調査内容を住民に報告することで、現状や課題を住民と共有することができます。

令和7年度の中津川市は、組織体制を再編しスピード感を持ちながら横断的に対応できる組織づくりを進めています。私たち議員も定数を削減する議案が可決されたことで、益々働き方が注目されます。議会だよりを通じて、市民に開かれた議会となるような情報発信を続けてまいります。